



品質管理は、原料の受け入れや製造、出荷前検査における「ものづくり」の重要な技術です。また、商品クレームが発生した際には、まずは分析により現象を把握することが解決に向けての第1歩となります。

本セミナーでは、品質管理・クレーム対策で重要な「異物分析」を中心に、分析の流れや分析装置の概要などについての講演を行います。その後、大阪産業技術研究所の協力により、代表的な分析装置による身近な材料の実演を通して、実践にすぐに役立つ分析技術をわかりやすく解説いたします。

◆日 時：令和5年5月29日（月） 13:30～16:30

◆場 所：大阪産業技術研究所 和泉センター
（和泉市あゆみ野 2-7-1） 研修室 4 他

◆定 員： 10名(先着順)

◆申し込み方法：

下記の申込フォーム

<https://zfrmz.com/dkmhnMxhKoSgdwbmOYO3>

または、末尾の申込書を FAX で送信してください。



◆プログラム：

13:30-14:30 講演 「基礎からわかる異物分析」

大阪産業技術研究所 顧客サービス部 総括研究員 日置 亜也子氏

14:45-16:30 装置実演・解説

大阪産業技術研究所 各担当研究員

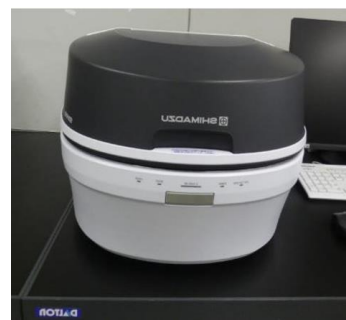
□デジタルマイクロスコープ

試料の色や形状を、大気中で高倍率（約 1,000~2,000 倍）に観察することが可能です。メタルハライドランプにより、自然光とほぼ同じ見え方で観察できます。また、凹凸のある試料では、3次元画像を得ることも可能です。



□エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置

試料に含まれる元素を調べる分析装置です。試料の材質の確認や有害元素のスクリーニングに用います。基本的に非破壊で、かつ迅速に測定することができます。



□低真空走査電子顕微鏡

試料を高倍率（約 2,000~3,000 倍）で観察できる装置です。導電性のない試料に対しても、そのまま観察可能です。また、観察と同時に元素分析も可能ですので、異物の材質確認にも有効です。



□イメージング型フーリエ変換赤外分光光度計（FT-IR）

プラスチックやゴム、油脂、塗料などの有機物系の試料の素材確認が可能な装置です。試料を変質させることなく迅速に測定できます。また、数 10 μ m 程度の微小・微量な試料の測定も可能です。



FAX (0725) 53-2332
(一社)大阪府技術協会 あて

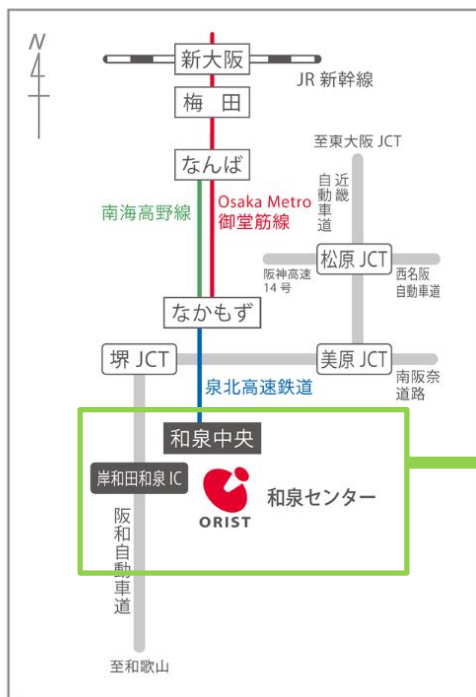
『品質管理・クレーム対策に役立つ分析技術』 申込

お名前：
会社名：
所属：
電話：
E-mail：

会場案内図

〒594-1157 和泉市あゆみ野 2-7-1
地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 和泉センター

広域交通地図



付近交通案内図

大阪産業技術研究所 和泉センター
(大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1)

